

2023年度 シラバス

教科 地歴公民

科目 倫理

キャリアデザイン コース	3	学年	単位数	2	履修区分	全員履修
--------------	---	----	-----	---	------	------

教科書	『高等学校 新倫理 新訂版』清水書院 (35・清水・倫理308)
副教材・参考文献	

科目のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○先人の思想・生き方から「人間とは何か」「生きるとは何か」といった人生観を身に付ける。 ○各思想家の歴史的つながりを理解し、現代に生きる我々の生活にあった生き方を考察する。 ○センター試験を意識して日々の学習のしかたについても指導する。
--------	--

授業内容とすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書を中心に進めていく。 ○定期的に小テストを行い定着を図る。 ○映像資料なども使いながら生徒の関心を高めるように工夫する。
-----------	--

学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○語句の暗記だけにならないようにしっかりとした知識を身につけさせるように工夫する。 ○生徒の発言を促し、自分なりの考えをもたせるようにする。
---------	---

成績評価の方法・基準	定期試験、小テスト、課題、授業への取り組みなどから総合的に評価する。
------------	------------------------------------

備考	
----	--

授業計画

期	週	月	単 元	内 容	テスト範囲	着 眼 点	
前 期	1	4	第1編現代に生きる自己の課題	青年期の意義		青年期に生きる生徒にこれからの聞き方を考えるきっかけにしたい	
	2			人格と自己形成			
	3			青年期の課題			
	4	5				各宗教の考え方の違い 歴史的背景を考察する	
	5						
	6						
	7						
	8	6			(中間試験)		
	9			第2編人間としての自覚と生き方			古代ギリシャの思想
	10						キリスト教
	11	7	第3篇現代社会と倫理		仏教		近代社会の成立と人間の生き方の変化について理解する
	12						
13				人間の尊厳			
14				合理論、経験論			
15				民主主義と人間のあり方			
16	8			人権思想			
17							
18	9			ドイツ観念論 功利主義	(期末試験)	自由と社会との関係を先人たちがどのようにとらえたか理解する	
19							
20							
21							
22							
後 期	1	10		個人と社会のかかわり			
	2			社会主義			
	3			実存主義			
	4			プラグマティズム			
	5			現代における理性の問題			
	6	11	第4編国際社会に生きる日本人の自覚	日本の風土と伝統		外来思想が日本でどのように消化されてきたか理解する	
	7			仏教の伝来と展開			
	8						
	9	12			儒教の伝来と日本化	(中間試験)	
	10						
	11						
	12			国学と日本文化			
	13	1			近世庶民の思想		
	14						
	15	2			西洋近代思想の受容		(3年期末試験)
16							
17	第5編現代の諸課題と倫理				生命倫理		
18					環境倫理		
19							
20	3			地域社会と家族	(期末試験)	て自分なりの意見をもてるようにする	
21							グローバル化と国際社会